

講義科目名称： 臨床病態学Ⅱ

授業コード： 2220200600

英文科目名称： Clinical Pathophysiology Course Ⅱ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
担当教員			
◎石井角保			
添付ファイル			

授業種類	<p>【開講】 後期 【授業時間】 30時間</p> <p>【担当教員】</p> <p>【氏名】 ◎石井 角保 【研究室】 321</p> <p>実務経験のある教員が担当します。</p> <p>【本学の科目区分】 専門基礎科目</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程</p> <p>【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】 ◎</p>
------	--

到達目標	循環器疾患、脳・神経疾患、眼・耳鼻科疾患、運動器疾患について、各疾患の病態を理解する。
------	---

授業概要	循環器疾患、脳・神経疾患、眼・耳鼻科疾患、運動器疾患について、個々の疾患の病態生理を解説する。必要に応じて、主要症候とそのメカニズムに触れながら、病態の理解が深まるように配慮する。
------	--

授業計画	<p>1 授業内容 授業形態：対面 学習課題：循環器疾患（1） 学習内容：循環器総論 備考：</p> <p>2 授業内容 授業形態：対面 学習課題：循環器疾患（2） 学習内容：不整脈 備考：</p> <p>3 授業内容 授業形態：対面 学習課題：循環器疾患（3） 学習内容：心不全 備考：</p> <p>4 授業内容 授業形態：対面 学習課題：循環器疾患（4） 学習内容：虚血性心疾患 備考：</p> <p>5 授業内容 授業形態：対面 学習課題：循環器疾患（5） 学習内容：弁膜症、心膜疾患、心筋症 備考：</p> <p>6 授業内容 授業形態：対面 学習課題：循環器疾患（6） 学習内容：血管疾患、高血圧症 備考：</p> <p>7 授業内容 授業形態：対面 学習課題：脳・神経疾患（1） 学習内容：脳・神経総論（1） 備考：</p> <p>8 授業内容 授業形態：対面 学習課題：脳・神経疾患（2） 学習内容：脳・神経総論（2）</p>
------	---

	9	備考： 授業内容 授業形態：対面 学習課題：脳・神経疾患（3） 学習内容：脳血管障害 備考：
	10	授業内容 授業形態：対面 学習課題：脳・神経疾患（4） 学習内容：変性疾患、認知症など 備考：
	11	授業内容 授業形態：対面 学習課題：脳・神経疾患（5） 学習内容：感染性疾患、機能性疾患 備考：
	12	授業内容 授業形態：対面 学習課題：眼・耳鼻科疾患 学習内容：白内障、緑内障、難聴、嚥下障害他など 備考：
	13	授業内容 授業形態：対面 学習課題：運動器疾患（1） 学習内容：運動器総論、骨折 備考：
	14	授業内容 授業形態：対面 学習課題：運動器疾患（2） 学習内容：変形性関節症、脊椎・脊髄疾患 備考：
	15	授業内容 授業形態：対面 学習課題：運動器疾患（3） 学習内容：末梢神経障害、骨粗しょう症 備考：
事前・事後学習	<ul style="list-style-type: none"> ・事前学習：前もって資料をどこカレにアップロードするので、予備知識を得ておくとう理解が進む。 ・事後学習：学習したことを定着させるため、資料を復習するのがよい。 	
評価方法、評価基準	・到達目標に対し期末試験を実施し、その結果を100%として目標達成度を最終的に評価する。	
必携図書	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を配布するので、特に指定しない。 ・図書館に参考図書を備えてあるので、随時参照すること。また、必要であれば、自分が理解しやすいと思うものを購入し、学習を深めるのがよい。 	
参考図書・資料等	・図書館に所蔵しているメディックメディア発行の「病気がみえる」シリーズが簡潔にまとまっており、参考にするとよい。	
受講、課題、資料配布等のルール	<ul style="list-style-type: none"> ・私語は授業妨害とみなし、退室を求める。 ・始業20分後に出席をとるので、それ以降の入室は欠席とする。 	
教員からのメッセージ	・看護の基礎となる科目ですので、頑張ってください。	
オフィスアワー		